

自然環境保護・保全事業

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に受け継いでいくために、みどりの基金は「九重ふるさと自然学校」を拠点に活動すると共に、さまざまな団体とパートナーシップを組み、保護・保全活動を推進しています。

九重ふるさと自然学校

みどりの基金が大分県九重町で運営する九重ふるさと自然学校は、「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を理念に、地元の方々の指導・協力を得て「くじゅうの自然保護・保全」と「トキのすめる里づくり」の活動をしています。

2009年度は、地元の小中学生を対象とした野鳥観察や生き物観察などのプログラムや、「トキのすめる里づくり」をめざした生き物豊かな田んぼづくりと有機無農薬の稲づくりなどを行いました。



苗取り



巣箱作り



アカネズミの観察

自然環境保護・保全活動

霧多布湿原保全活動

北海道の認定NPO法人霧多布湿原トラストとパートナーシップ協定を結び、霧多布湿原の民有地などを取得し、保全していくナショナルトラスト活動を行っています。2009年度(平成21年度)までに取得した湿地は、累計で約336haとなりました。今後も大切な自然遺産を残していくために保護・保全活動を続けていきます。



霧多布湿原はラムサール条約登録湿地
撮影：ノーザンビレッジ 北村 康春

● 東京の桜の保護活動

東京都には千鳥ヶ淵をはじめとした桜の名所がたくさんあります。当基金が支援しているNPO法人東京樹木医プロジェクトは、樹木医が有する知識と技術を活用し、市民や行政と連携して衰退したさくらの樹勢回復を図る活動を行っています。

2009年度には、千代田区さくらサポーター事務局と共同で千鳥ヶ淵や靖国神社、四ツ谷外濠で「さくら教室」を開催。桜を守る活動をしている市民を対象に「桜守」研修会を小金井公園と町田市つくし野で開催しました。



全国桜100選の一つに選ばれた千鳥ヶ淵の桜

● 富士山地域環境保全活動

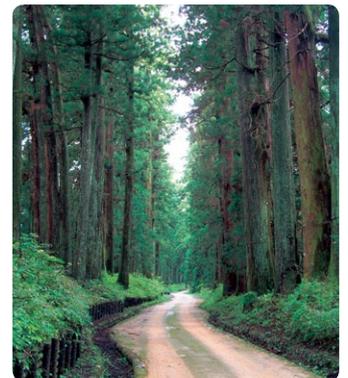
富士山地域の環境問題を解決するために、NPO法人富士山クラブと環境パートナーシップ協定を結び、富士山の貴重な自然環境を守る活動に支援を行っています。富士山クラブは、2009年度に85回の清掃活動を行い、延べ約6600人が参加して約56tのごみを回収しました。



富士山清掃

● 日光杉並木保護活動

栃木県の「日光杉並木街道」は、日本で唯一の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている貴重な文化財です。しかし、年間平均50本の杉が枯れるなど、危機的な状態にあります。当基金は、(財)日光杉並木保護財団が行っている12,500本の日光杉並木の保護活動を、2000年(平成12年)より継続して支援しています。



樹齢380年を超える日光杉並木街道